



アニコム 損害保険 の現状

2020 DISCLOSURE

日頃より、アニコム損害保険をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社の経営方針・事業概況・財務状況などについて皆様にご理解いただきたく、

「アニコム損害保険の現状 2020」を発行いたしました。

本誌が、当社をご理解いただく一助として、皆様のお役に立てれば幸いに存じます。

※本誌は「保険業法第111条」および「同施行規則第59条の2及び第59条の3」に基づいて作成したディスクロージャー誌（保険会社に係る業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

■ アニコムグループ経営理念



ani+com=anicom

アニコムグループは、それぞれの命が持つ個性の違いを互いに尊重しあい、
分業協力することで、世界中に「ありがとう」を拡大します。

アニコムグループでは、社名に掲げた
「ani（命）+communication（相互理解）=∞（無限大）」
を企業活動の根源にすえています。

命あるものがお互いに理解し、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、
これまで不可能と思われていたことが可能になると考えているからです。

私たちはペット保険事業を柱にこの無限大の価値創造力を活かし、「ありがとう」を拡大します。

■ アニコムグループ経営方針

1

オープン・マネジメント

■アニコムグループは、オープンで、「対話のできる法人」を目指します。

組織が大きくなるにつれて、ステークホルダーの皆様の声は、法人に届きにくくなりがちです。アニコムグループでは、ステークホルダーの皆様から「見える」「話せる」と実感していただける「対話のできる法人グループ」を目指してオープン・マネジメントを推進します。

2

マーケットアウト・マネジメント

■アニコムグループは、常にお客様の視点に立って、新しい価値の創造に努めます。

アニコムグループは、常にお客様の視点に立ち、お客様の求めるサービスを創りだす、マーケットアウト（お客様の真のニーズにお応えすること）を意識することで、常に柔軟な経営を徹底し、お客様の願いを実現するとともに、新しい価値を創造することに努めます。

3

ロールプレイング・マネジメント

■アニコムグループは、個々に与えられた役割（ロール）を最高に演じる（プレイング）ことで、個人と組織の飛躍的成長を促進します。

アニコムグループは、個々と組織の役割を明確にし、その役割を役者のごとく最高に演じることで、何事にも果敢に挑戦し続け、常に新たなスキルを吸収し、飛躍的な成長を促進させる経営を実践します。

※アニコムグループについては、15ページをご参照ください。



contents

シンボルマーク



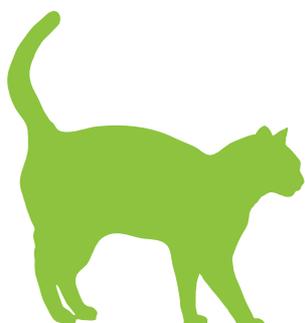
「はっば」のシンボルマークは、4枚のハート型の「はっば」で構成されています。ハート型でアニコムグループの理念である「命」を連想させるとともに、4枚の「はっば」をつなぐことで、分業協力する「命」の姿を表しています。色は、「命」をイメージする植物の芽の色、アニコムライトグリーンを配しています。

アニコム損保の経営方針

私たちアニコム損保は、ペット保険を通じて、
飼い主の皆様の「涙」を減らし、「笑顔」を生みだす
保険会社を目指します。

家族であるどうぶつがケガや病気をして喜び飼い主
はいません。つまり、ケガや病気で保険金をお受け
取りになられることは、飼い主の皆様が『涙』を流
していることを意味します。

アニコム損保では、保険金支払データの分析を通じ
て、どうぶつがケガをしない、病気にならないため
の情報の提供など、飼い主の皆様が『涙』を減らし、
『笑顔』を生みだす保険会社を目指して、グループ
をあげてケガや病気の予防促進に取り組んでまいり
ます。



会社概要	02
沿革	02
トップメッセージ	03
予防への取り組み	04
トピックス	05
社会貢献活動	08
代表的な経営指標	10

I 経営について

1. アニコムグループの概要	15
2. 2019年度の事業概況	16
3. コーポレート・ガバナンスの状況	18
コーポレート・ガバナンス体制	18
反社会的勢力の排除	20
4. 内部統制システム	21
5. コンプライアンス	23
コンプライアンス体制	23
勧誘方針	24
6. リスク管理	25
7. 個人情報の保護	28
特定個人情報保護基本方針	32
8. 利益相反取引の管理	33
9. 募集制度	34
10. お客様本位の業務運営方針	36
11. 「お客様の声」への対応	39

II 業務について

1. 保険のしくみ	46
2. 約款	46
3. 取扱商品	47
4. 保険金のお支払い	49
5. 各種サービス	52

III コーポレートデータ

1. 株式の状況等	55
2. 会社の組織	56
3. 役員の状況	57
4. 会計監査人の状況	58
5. 従業員の状況等	59

IV 業績データ

IV-1 主要な業務に関する事項

1. 直近の5事業年度における主要な業務の 状況を示す指標	62
2. 業務の状況を示す指標	63

IV-2 財産の状況

1. 計算書類	74
2. リスク管理債権	80
3. 債務者区分に基づいて区分された債権	81
4. 単体ソルベンシー・マージン比率	82
5. 時価情報	83
6. 会計監査及び代表者による財務諸表に 関する確認書	84

損害保険用語の解説	85
-----------	----

会社概要

(2020年7月1日現在)

社名（英文社名）	アニコム損害保険株式会社（Anicom Insurance, Inc.）
代表取締役	野田 真吾
設立年月日	2006年1月26日 （アニコム インシュアランス プランニング株式会社として設立）
開業日	2008年1月10日
本社所在地	〒160-8352 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階
電話番号	03-5348-3777
資本金	6,550百万円
従業員数	437名（2020年3月31日現在）
株主	アニコム ホールディングス株式会社（100%）
事業内容	損害保険業

沿革

2006年1月	アニコム インシュアランス プランニング株式会社設立
2007年10月	資本金を35億円とする（資本準備金6億1,400万円）
2007年12月	金融庁より損害保険業免許取得 アニコム損害保険株式会社へ商号変更
2008年1月	ペット保険「どうぶつ健保」販売開始 （4月1日以降保険責任開始契約）
2008年4月	ペット保険「どうぶつ健保」補償開始
2009年3月	12億円増資し、資本金41億円に（資本準備金12億1,400万円）
2010年3月	親会社のアニコム ホールディングス株式会社が 東京証券取引所マザーズ市場へ上場 5億円増資し、資本金43億5,000万円に（資本準備金14億6,400万円）
2012年3月	7億円増資し、資本金47億円に（資本準備金18億1,400万円）
2013年9月	7億円増資し、資本金50億5,000万円に（資本準備金21億6,400万円）
2014年6月	親会社のアニコム ホールディングス株式会社が 東京証券取引所市場第一部へ市場変更
2015年10月	本社を新宿区西新宿へ移転
2018年10月	30億円増資し、資本金65億5,000万円に（資本準備金36億6,400万円）

トップメッセージ

日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は「涙を減らし、笑顔を生み出す保険会社」を経営方針に掲げ、ペット保険の普及に努めております。

2019年度は、年齢の上限なく申込みできる「どうぶつ健保しにあ」を新たに発売し、おかげさまで、2020年3月末時点の保有契約は81万6,254件、対応動物病院様は6,466病院となりました。また、2019年度の保険金のお支払い件数は340万件となり、「どうぶつの健康保険制度」として多くのお客様にご利用いただいております。

「予防型保険」の実現に向けて、「家庭どうぶつ白書2019」の発行や、熱中症の予防啓発活動などさまざまな取り組みを実施してまいりました。予防だけでなく、どうぶつの遺伝性疾患を一つでも少なくすることを目指し、アニコムグループ全体で遺伝子検査事業等を進めております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「もしも自分が感染してしまったらわが子をどうしよう」というペット飼育者の不安を解消するべく、新型コロナウイルスに感染された方のペットをお預かりする「#stayanicom」プロジェクトをアニコムグループでスタートさせました。保険が安心を提供するのと同じように、どうぶつと飼い主に安心を提供していくことが弊社の努めです。

今後も、どうぶつと飼い主が、安心して健康に笑顔で幸せに暮らせる社会作りに貢献するべく、役職員一丸となって尽力してまいります。引き続き、より一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年7月



アニコム損害保険株式会社
代表取締役

野田真吾

予防への取組み

■「涙を減らし、笑顔を生みだす保険会社」を目指して

当社は、「涙を減らし、笑顔を生みだす保険会社」を経営方針に掲げ、家族の一員であるどうぶつにも安心して医療を受けることができる環境を整え、ケガや病気を「予防」し「笑顔」につなげ、すべてのどうぶつの幸せと安心を創造することを目指しています。このビジョンに向けて、アニコムグループ各社と連携し、以下の取組みを推進しています。

■STOP熱中症プロジェクト

当社は、「無くせる病気」の一つである熱中症の予防啓発活動を2013年度から継続しています。

株式会社ライブビジネスウェザーにご協力いただき、犬の体高や代謝などを考慮して開発した独自の熱中症指標を用いて全国10地点の「熱中症週間予報」をアニコム公式InstagramなどのSNS上で、毎週金曜日に配信しています。お留守番時の室温設定やお出かけの予定を考える際にお役立ていただくなど、多くの皆さまにご活用いただきました。

熱中症は、飼い主が正しい知識を持つことにより「無くせる病気」です。熱中症で苦しむどうぶつがいなくなることを目指し、今後も予防啓発に取り組んでまいります。



■『家庭どうぶつ白書 2019』発行

アニコムグループでは2010年から、当社のペット保険「どうぶつ健保」の保険金支払い実績、独自に実施したアンケート調査の結果など、家庭どうぶつに関わるさまざまなデータを『家庭どうぶつ白書』として1冊にまとめ、毎年発行しています。

2019年12月12日に発行した『家庭どうぶつ白書2019』は、犬猫の平均寿命の推移や、品種ごとの年間診療費、近年人気を集めるMIX犬に関する調査など、ペットと暮らすうえで気になる情報を多数掲載しました。

また、エキゾチックアニマルに関して、診療をしている動物病院の地域別の数や、かかりやすい病気、年間診療費などのデータも公開しています。

引き続き、皆さまのお役に立てる情報を提供できるよう努めてまいります。



■無事故（625）の日表彰

当社では、毎年6月25日を『625（無事故）の日』として、賠償責任事故の予防に取り組んでいます。

2019年度は、ご契約いただいてから、賠償責任事故のご請求がなかった秋田犬27頭に表彰状をお贈りしました。あわせて、ご友人にお渡しいただけるような名刺サイズの表彰状もプレゼントしました。



■「どうぶつ健保しにあ」販売開始

2019年9月17日から、8歳以上であれば何歳でも申込みできるペット保険「どうぶつ健保しにあ」の販売を開始しました。「どうぶつ健保しにあ」は、これまでペット保険に新規加入できなかった高齢の犬猫が申込みできる商品です。入院・手術の費用に特化することでお手頃な保険料に抑え、「ペット保険には入りたけれど高齢だから諦めていた」「高齢になると保険料も高額だから入りたくても入れなかった」などの声にお応えしました。



■ペット探偵による「迷子搜索サービス」を提供開始

2019年5月から、ペット探偵による迷子搜索サービスの提供を開始しました。本サービスは、ジャパンロストペットレスキューと提携し、3日間の搜索と出張を無料で提供いたします。当社が、従来から行っていた「迷子搜索サポートマップ」上での呼びかけ、迷子が発生した地域でのネットワークを生かした「迷子搜索依頼メール」の配信とあわせて、万が一、ペットが迷子になってしまった場合、お守りとしてご利用いただけるサービスです。



■「みんなのどうぶつ病気大百科」オープン

診療費の目安が品種別・年齢別・性別にわかる「どうぶつ診療費ドットコム」と病気の概要がわかる「どうぶつ親子手帳」を統合し、「みんなのどうぶつ病気大百科」としてリニューアルオープンしました。

当社が保有する数千万件にのぼる診療データをもとに、「この病気にかかったら、どのくらいのお金がかかるのか」「どんな病気なのか」という飼い主の悩みや不安を解消することを目指します。今後も、安心してペットの診療を受けていただけるよう内容を充実させてまいります。

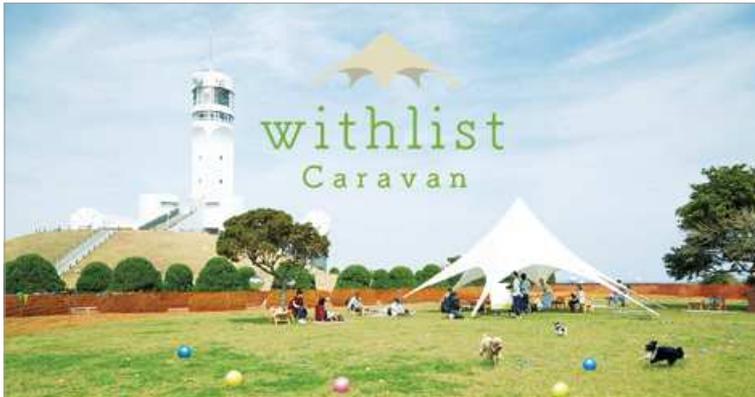


現状

トピックス

■「withlist Caravan」の開催

2019年10月から、飼い主と愛犬の夢を叶えるドッグラン「withlist Caravan（ウィズリストキャラバン）」を開催しました。本イベントは、2018年に開催した「#withlist」キャンペーンに寄せられた「旅行に行きたい」「一緒に写真を撮りたい」「美味しい食事をあげたい」という多くの飼い主の共通の夢を一挙に叶えられる「一日だけの夢のドッグラン」として展開。走るだけでなく、のんびり過ごせる空間や、プロカメラマンによる写真撮影、ヘルシーランチ、ドッグヨガなどを提供し、大阪、仙台の2会場であわせて約1,200頭、2,000人の方にご参加いただきました。



■焼肉「うしすけ」とのコラボを開始

愛犬と一緒に焼肉が楽しめる「うしすけ」を展開する株式会社WithPetFamilyと相互に協力するコラボ企画を2019年10月から開始しました。第1弾として、当社の獣医師が監修したハロウィンスペシャルメニュー「おぼけバーグ」を販売するとともに、「うしすけ」店舗で愛犬と外食を体験する「はじめての外食マナー講座」を開催しました。第2弾では、5種類のメニューを当社獣医師監修のもと共同開発し、2020年3月から「うしすけ」各店で販売しています。



■「どうぶつ命名書展2020」の開催

ご契約者を対象に、ペットの名前に込めた思いとお気に入りの画像で作成した命名書をホームページ上で紹介する「どうぶつ命名書展2020」を開催しました。

わが子への愛情があふれる1,300点を超える応募作品は、ホームページ上でご覧いただけます。



■新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、以下の対応を行っています。

〈ご契約者〉

○保険適用対象の拡大

外出を控える方が多い中、必要な獣医療が提供できる環境となるよう「ペットを伴わない通院」も補償の対象とする特例措置を実施しています。

○継続のお手続き、保険料のお支払いの猶予

通常のご契約手続きが困難となるご契約者を対象に、お手続きに一定期間の猶予を設ける特別措置を実施しています。

○新型コロナウイルス感染症と診断された方へお見舞金をお支払い

ご契約者および被保険者が新型コロナウイルス感染症と診断された場合、おひとりあたり5万円のお見舞金をお支払いしています。

〈従業員〉

緊急事態宣言下においても、金融機関として事業の継続が求められる中、従業員の感染リスクを軽減するため、人と人との接触機会を削減する対策を実施しました。

○勤務時間における接触機会の削減

テレワークを含む在宅勤務を積極的に実施したほか、土日勤務を含めたシフト勤務体制を構築しました。また、原則、対面での面談等を行わないこととし、テレビ会議等を実施しました。

○通勤時における接触機会の削減

自動車や自転車での通勤や、オフィスの近隣ホテルへの宿泊を推奨し、これらを行うことによる金銭的負担を会社が補助したほか、時差出勤を積極的に実施しました。

■#stayanicom プロジェクト

アニコムグループでは、新型コロナウイルス感染症に対するペット飼育者の不安を少しでも解消できるよう、感染された方のペットを無償でお預かりまたは訪問ケアするサービスを行っています。

飼い主が隔離施設で生活する間や入院の間、アニコムの獣医師を中心としたステイアニコムクルーが責任と愛情をもってペットのお世話をいたします。お預りしたペットについては、複数回のPCR検査を行い、陰性を確認したうえで、グループの動物病院へ移動するなど、ペットができるだけ快適に過ごせるよう努めています。

2020年4月から開始した本プロジェクトは、2020年6月までに犬12頭、猫6頭、うさぎ1羽をお預かりしました。

お世話の様子を掲載したanicom youやSNSには、感謝や応援のメッセージが数多く寄せられました。



社会貢献活動

アニコムグループでは、動物に関わる企業として、「動物の尊厳」をCSR活動方針の軸としており、『動物の尊厳に関する宣言』を社内で掲げています。宣言の中では「すべての動物は尊厳をもつこと」「いかなる動物も虐待の対象とはならないこと」などを謳っています。動物たちの尊厳を守り、そして高めることこそが、私たちのCSR活動における使命だと考えています。

■動物愛護啓発活動の実施

アニコムグループでは、2012年度からグループ会社横断プロジェクト「PAW (Project of Animal Welfare)」を立ち上げ、動物愛護や動物福祉に資する活動を行っています。

2019年度は、動物愛護週間に、埼玉県と共同で「備えようペットの防災」をテーマにJR浦和駅においてイベントを行いました。当日は、ノベルティを配布しながら、防災について不安に感じていることなどのアンケートを実施し、防災の大切さをお伝えしました。また自社メディア「anicom you」において、動物愛護啓発に関する記事を発信しています。



■犬猫の譲渡会の開催協力

飼い主のいない犬猫に新しい家族との出会いの場を提供するべく、動物愛護団体等が主催する譲渡会に会場提供などの協力をしています。2019年度は4団体と連携し、計11回の譲渡会開催に協力しました。今後も、提携先と連携し、1頭でも多くの犬猫に幸せなご縁が広がるよう活動を継続してまいります。



■災害救助犬の育成への協賛

当社は、一般社団法人ジャパンケネルクラブ（JKC）が行っている災害救助犬（地震、豪雨などの災害現場で、瓦礫等に覆われた被災者を捜索し、自衛隊、消防、警察等による救助部隊をサポートする犬）の育成活動に協賛しています。

訓練所で訓練を受け、認定試験に合格した犬だけがJKC災害救助犬として認定を受け、被災現場等へ出動することができます。2019年の認定試験には、75頭がチャレンジし29頭が合格しました。また、災害救助犬競技大会には、42頭が参加し、服従や捜索の技能を競いました。

2019年は、のべ94頭が全国44ヶ所の防災訓練やイベントへ参加し、災害救助犬の実演を披露したほか、実際の災害現場において期待に応える活動ができるよう救助部隊と連携した訓練を行っています。

2019年12月時点で、出動が可能な認定犬は154頭です。



以上の当社独自の取組みのほか、一般社団法人日本損害保険協会の一員として、事故、災害及び犯罪の防止・軽減にむけて、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。同協会での取組みについては、ウェブサイトをご覧ください。

■事故・災害・犯罪の防止・軽減への取組み

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/index.html>

■環境問題への取組み

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/eco/index.html>

代表的な経営指標

区分	2017年度	2018年度	2019年度
正味収入保険料	31,290百万円	34,535百万円	39,105百万円
正味損害率	56.2%	56.3%	55.2%
正味事業費率	33.8%	33.3%	35.7%
コンバインド・レシオ	90.0%	89.6%	90.9%
保険引受利益	1,598百万円	2,040百万円	1,598百万円
経常利益	1,924百万円	2,268百万円	1,842百万円
当期純利益	1,391百万円	1,597百万円	1,251百万円
単体ソルベンシー・マージン比率	305.6%	379.8%	357.0%
総資産額	28,912百万円	36,287百万円	39,072百万円
純資産額	11,595百万円	16,170百万円	17,042百万円
その他有価証券評価差額	△128百万円	△150百万円	△530百万円
不良債権の状況（リスク管理債権）	-	-	-

正味収入保険料（対前期比）

391億5百万円（113.2%）

正味収入保険料の推移



正味収入保険料

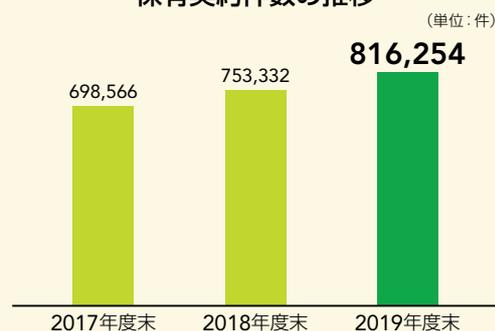
ご契約者から受領した保険料に、保険金支払い負担の平均化・分散化を図るための他の保険会社との再保険契約のやり取りを加減した金額であり、売上規模を示す指標です。

当社では再保険契約がないため、全額がご契約者から受領した保険料となっています。

関連する指標－保有契約件数

ペット保険の保有契約件数は、2020年3月末で前年比6.3万件のプラスの81.6万件となりました。

保有契約件数の推移



保有契約件数

算出日時点で保険契約が有効に成立している契約の件数です。

正味損害率

55.2%



■正味損害率

正味収入保険料に対する正味支払保険金と損害調査費との合計額の割合のことで、保険会社の経営分析や保険料率の算出に用いられるものです。

正味事業費率

35.7%



■正味事業費率

正味収入保険料に対する保険事業上の経費の割合のことで、正味損害率と同様に、保険会社の経営分析や保険料率の算出に用いられるものです。この経費には、営業費及び一般管理費のうち、保険引受に係る金額及び諸手数料が含まれます。

コンバインド・レシオ

90.9%



■コンバインド・レシオ

正味損害率と正味事業費率の合算率で、損害保険会社の保険本業での収益力を示す指標です。一般的にこの指標が低いほど収益性が高いといわれています。

保険引受利益 (対前期比)

15億98百万円 (78.3%)



■保険引受利益

正味収入保険料等の保険引受収益から、保険金・損害調査費等の保険引受費用と保険引受に係る営業費及び一般管理費を控除し、その他収支を加減したもので、保険本業での最終的な損益を示すものです。

代表的な経営指標

経常利益（対前期比）

18億42百万円（81.2%）



■経常利益

正味収入保険料、利息及び配当金収入、有価証券売却益等の経常収益から、正味支払保険金、有価証券評価損、営業費及び一般管理費等の経常費用を差し引いたもので、経常的に発生する取引から生じた損益を示すものです。

当期純利益（対前期比）

12億51百万円（78.3%）

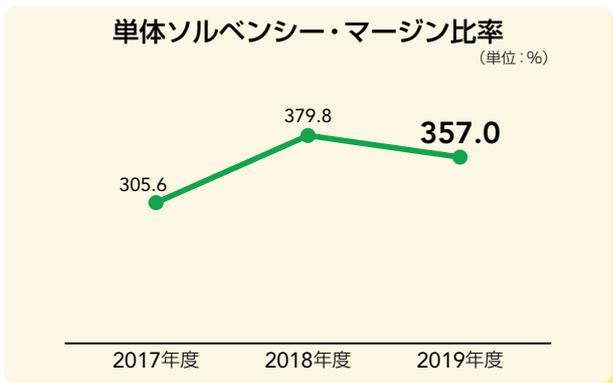


■当期純利益

左記の経常利益に固定資産処分損益や価格変動準備金繰入額等の特別損益、法人税及び住民税、法人税等調整額を加減したもので、事業年度に発生した全取引によって生じた損益を示すものです。

単体ソルベンシー・マージン比率

357.0%



■単体ソルベンシー・マージン比率

巨大災害の発生や、保有資産の大幅な価格下落等、通常の見積を超えて発生し得る危険に対する、資本金・準備金等の支払余力の割合を示す指標です。行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用されており、この数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

総資産額

390億72百万円



■総資産額

保険会社が保有する資産の総額で、具体的には貸借対照表上の「資産の部合計」です。保険会社の資産規模を示すものです。

純資産額

170億42百万円

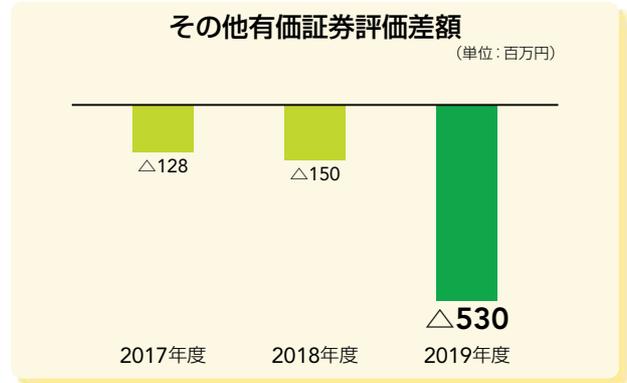


■純資産額

総資産額から、責任準備金等の負債額を控除したもので、具体的には貸借対照表上の「純資産の部合計」です。保険会社の担保力を示すものです。

その他有価証券評価差額

△530百万円



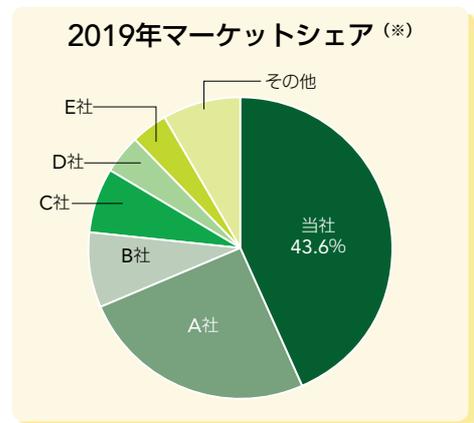
■その他有価証券評価差額

保有有価証券等に占める「その他有価証券」の時価評価後の金額と時価評価前の金額の差額を指します。財務諸表上は、この評価差額から税金相当額を控除した金額を、貸借対照表の純資産の部に「その他有価証券評価差額金」として計上しています。

■関連する指標—ペット保険普及率

ペット保険を扱う会社は計15社あり、普及率は、10.3%と順調に伸張しています。一方、ペット保険の歴史が長い英国での普及率は、25%を超えるとされており、日本においても、英国並みの普及率を目指すことができると考えられることから、今後も高い成長性が見込まれます。

当社は、人の健康保険制度と同様に、対応動物病院で利用できる「窓口精算システム」や、お気に入りのペットの写真がプリントされた「どうぶつ健康保険証」等にご支持をいただき、ペット保険シェアNo.1を維持し続けています。



※株式会社富士経済「2020年 ペット関連市場マーケティング総覧」調査